

文部科学省 科学研究費補助金 研究成果報告書

1 概要

科学研究費補助金（略称：科研費）は、国費による研究助成金の中核的存在である。人文・社会科学から自然科学までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、研究者による審査（ピア・レビュー）を経て、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものである。

科研費の規模は 2,381 億円（平成 25 年度）であり、採択件数（新規+継続）は約 76,000 件（平成 24 年度）である。

文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書（科研費報告書）は、補助金を受けた研究代表者が研究成果をとりまとめ、研究期間終了の翌年に提出するものである。

従来は冊子で作成・提出されてきたが、平成 20 年度が研究最終年度にあたる研究課題（一部研究種目等を除く）＝平成 21 年度提出分から、提出方法が冊子体から数枚の様式に変更された。新たな様式により提出された研究成果報告書は一部を除き電子化され、Web で全文が公開されている。

2 報告書の種類と利用方法

◆報告書の種類

研究成果報告書：提出の可否は研究種目や年度によって異なる。

平成 20 年度提出分まで：国立国会図書館関西館で利用。（閲覧・複写や図書館間貸出）

平成 21 年度提出分以降：KAKEN で閲覧。（従来と様式が違うので注意）

「特定領域研究」と「新学術領域研究（研究領域提案型）」の計画研究に限っては従来通り

研究実績報告書：年度毎に作成する報告書。KAKEN で閲覧。

※KAKEN：科学研究費補助金データベース（国立情報学研究所）<http://kaken.nii.ac.jp/>

◆国立国会図書館での所蔵の範囲

国立国会図書館では、昭和 50（1975）年頃から「研究成果報告書」を所蔵している。当館が所蔵する科研費報告書の大部分は関西館で所蔵しているが、昭和 57（1982）年以前の一部の資料は東京本館で所蔵している。当館内での閲覧のほか、図書館への貸出を行っている。

3 NDL-OPAC での検索

国立国会図書館で所蔵する科研費報告書は、すべて NDL-OPAC で検索することができる。

【詳細検索】の画面で「図書」にチェック ☒ を入れて検索する。

検索に使える項目と入力欄の対応は次のとおり。

検索に使う言葉	画面での入力欄
課題名・研究種目	[タイトル] ※
研究代表者名・研究機関名	[著者] ※
課題番号	プルダウンメニューを[各種番号類]に指定して入力
キーワード	プルダウンメニューを[件名]に指定して入力（研究代表者が付与したキーワードを非統制件名として採録）
（科研費報告書に絞りたいとき）	プルダウンメニューを[分類記号]に指定して「Y151」と入力 （昭和 57（1982）年以前の一部の資料は除かれます）

※NDL-OPAC では、科研費報告書のタイトルとしては研究課題名を、著者としては研究代表者のみを採録している（図 1 と図 2 を比較）。1 冊の科研費報告書が複数の論文から構成されている場合、個々の論文の著者名や論題から NDL-OPAC を検索することはできない。探している科研費報告書の研究課題名や研究代表者名がわからないときは、KAKEN を利用しての調査が必要になる。

図 1 NDL-OPAC の書誌データ (例)

所蔵確認／各種申込み → 全ての資料を表示する	
-所蔵場所ごと	関西:総合閲覧室 1
資料種別	図書
請求記号	Y151-H05102005
タイトル	免疫病の分子・遺伝子治療に関する研究 /
責任表示	岸本, 忠三, 大阪大学.
出版事項	1993-1996.
形態/付属資料	冊.
注記	文部省科学研究費補助金研究成果報告書.
科研費番号	05102005
個人著者標目	岸本, 忠三.
非統制件名	gp130. STAT3. NF-IL6. CD40. ケモカインPBSF/SDF-1. HIV coreceptor.
NDLC	Y151
他タイトル	研究種目 特別推進研究.
書誌ID	000006989996

研究課題名
研究代表者名, 機関名
研究期間
課題番号
研究代表者が課題に対して付与したキーワード (最大で 8 語まで)
分類記号は一律に「Y151」 (1982 年以前の一部を除く)
研究種目

(被引用例 - 表記のバリエーション -)

- 1 青山雅史 (2000) 日本列島の岩石氷河台帳. 文部省科学研究費補助金研究成果報告書「日本列島における岩石氷河とその古環境学的意義に関する研究」(代表: 岩田修二, 課題番号: 09680179): 67-121.
 - 2 文部科学省科学研究費補助金, 特定領域研究 (A), 研究成果報告書 (平成 10~12 年), 中筋一弘 (領域代表), 2001
 - 3 吉森明, 文科省科研費報告書 (2002).
 - 4 長友和彦, 1990, 誤用分析研究: 日本語の中間言語の解析にむけて, 第二言語としての日本語の教授学習過程の研究 平成元年度科学研究費補助金 [一般 (B)] 研究成果報告書, 1-53
 - 5 Ohigashi H, 1995. Plants used medicinally by primates in the wild and their physiologically active constituents. Report to the Ministry of Education, Science, Sports and Culture for 1994 Grant-in-Aid for Scientific Research (no. 06303012).
- ↑ 科研費の英語名称
- ※科研費報告書が引用されるときには、1 冊の報告書単位で引用される場合と、報告書に収録されている論文単位で引用される場合の 2 通りがある。論文単位で引用された場合、その論文の著者が研究代表者であるとは限らないので、NDL-OPAC を検索するときには注意が必要。

4 研究課題について詳細に調査するには

◆Web 情報

- KAKEN: 科学研究費補助金データベース (国立情報学研究所) <http://kaken.nii.ac.jp/>
 - ・図 2 及び図 3 参照
 - ・収録範囲 …採択課題: 1965-2013 実績報告: 1985-2013 成果概要: 1985-2007 (2013.9 現在)
 - ・研究実績報告書と、研究成果報告書概要に記載された研究内容を閲覧できる。また、研究期間の最終年度が平成 20 年度以降の場合は研究成果報告書(PDF)を閲覧できる。
 - ・研究分担者名や収録データの全文から検索できる。
 - ・成果報告書中の 1 著者や 1 論文の情報しかないときに、課題名や研究代表者名を調べられる場合がある。
- CiNii Articles—日本の論文を探そう (国立情報学研究所) <http://ci.nii.ac.jp/>
 - ・研究成果報告書の被引用情報が含まれている。報告書内の論文タイトルなどがわかることがある。
 - ・引用情報の書誌事項は間違っていることがしばしばあるので、注意が必要である。
- 研究代表者の所属大学(機関)の機関リポジトリ
 - ・ごくまれに、科研費報告書の全文が公開されていることがある。

◆冊子体 (参考文献[5]、[6]参照)

「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」(ぎょうせい) <NDL 請求記号 Z41-994>

KAKEN 科学研究費補助金データベース

ヘルプ サービス概要 よくある質問 English

◀検索結果に戻る

免疫病の分子・遺伝子治療に関する研究

研究課題番号: 05102005

代表者 1993年度～1996年度
岸本 忠三
研究者番号: 10093402
大阪大学・医学部・教授

研究課題名と研究代表者

研究分担者・連携研究者

- 1 斎良 静男
研究者番号: 50192919
大阪大学・細胞生体工学センター・助教授
- 2 小川 啓泰
研究者番号: 80194447
大阪大学・医学部・講師
- 3 佐伯 行彦
研究者番号: 40240840
大阪大学・医学部・助手
- 4 田賀 哲也
研究者番号: 40192629
東京医科歯科大学・難治疾患研究所・教授

研究分担者名で課題を検索することができる

キーワード

- gp130
- NF-IL6
- STAT3
- CD40
- SDF-1
- ノックアウトマウス
- HIV coreceptor
- APRF
- ケチカイン/PBSF
- chemokine PBSF
- SCIDマウス
- IL-6レセプター

この研究課題のドキュメント

- 1993年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#)
- 1994年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#)
- 1995年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#)
- 1996年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#) [研究成果報告書概要](#) [研究成果報告書概要\(英文\)](#)

各年の研究実績報告書および研究成果報告書概要。リンクをクリックするとジャンプする

研究課題基本情報(最新年度)

研究期間	1993年度～1996年度
研究分野	審査区分
研究種目	特別推進研究
研究機関	大阪大学
配分額	総額: 240000千円 1996年度: 45000千円 (直接経費: 45000千円) 1995年度: 50000千円 (直接経費: 50000千円) 1994年度: 50000千円 (直接経費: 50000千円) 1993年度: 95000千円 (直接経費: 95000千円)

実績報告書や研究成果報告書概要全文を対象に検索することができる

研究概要(最新報告)

平成5年度から8年度の4年間、特別推進研究の代表的成果は以下のものである。1) サイトカイン共通信号伝達分子 gp130 を介する信号を核内に伝達し、遺伝子発現調節に成功し、その全構造を決定。その結果、gp130 から遺伝子発現調節に関与する領域を特定した。

科研費関係で提出される報告書のうち、「研究実績報告書」と「成果報告書概要」は、様式が定まった簡易な用紙 2 枚分)。このうち研究内容に関わる部分は 800 字程度であり、報告書に記載された内容がそのまま「研究実績報告書」として KAKEN で公開され、インターネットで閲覧することができる。

発表文献

Takeda, K. et al.: "Essential role of STAT6 in IL-4 signaling." Nature. 380. 627-630 (1996), [CrossRef](#)

Yosida, K. et al.: "Targeted disruption of gp130, a common signal transducer for the interleukin6 family of cytokines." Acad. Sci. USA. 93. 407-411 (1996), [CrossRef](#)

Minami, M. et al.: "STAT3 activation is a critical step in gp130-mediated terminal differentiation and growth arrest of T cells." J. Exp. Med. 184. 1185-1194 (1996), [CrossRef](#)

Nagasawa, T. et al.: "Defects of B lymphopoiesis and bone marrow myelopoiesis in mice lacking the CXCL12 chemokine receptor CXCR4." Proc. Natl. Acad. Sci. USA. 93. 1138-1143 (1996), [CrossRef](#)

Kamanaka, M. et al.: "Protective role of CD40 in Leishmania major infection at two distinct phases of cell-mediated immunity." J. Exp. Med. 184. 1185-1194 (1996), [CrossRef](#)

Sasaki, K. et al.: "Absence of fetal liver hematopoiesis in mice deficient in transcriptional coactivator core binding factor β." Proc. Natl. Acad. Sci. USA. 93. 12359-12363 (1996), [CrossRef](#)

研究実績報告書や研究成果報告書概要の書誌情報が含まれる。これによって、研究の進捗状況を知ることができる。

このページのURI

<http://kaken.nii.ac.jp/ja/p/05102005/1996/6/ja>

図 3 KAKEN 研究課題詳細画面（例 2：研究期間の最終年度が平成 20 年度以降の場合※）

KAKEN 科学研究費補助金データベース

検索結果に戻る

定型的探餌・回避行動を誘発する化学感覚統合系のアルゴリズム解読と応用に関する研究
Algorithm analysis of chemosensory transduction that controls the behavioral state of living organisms and its application to engineering system design
研究課題番号: 18360396

代表者 2006年度～2008年度
大竹 久夫
OHTAKE, Hisao
研究者番号: 10127483
大阪大学・大学院・工学・研究科・教授

研究分担者等

研究分担者
大政 豊史
OMASA, Kenji
研究者番号: 00252586
大阪大学・大学院・工学・研究科・准教授

本田 孝祐
HONDA, Khosuke
研究者番号: 90403162
大阪大学・大学院・工学・研究科・助教

この研究課題のドキュメント

2006年 [研究実績報告書](#)
2007年 [研究実績報告書](#)
2008年 [研究実績報告書](#) [研究実績報告書 \(PDF\)](#)

研究課題基本情報(最新年度)

研究期間 2006年度～2008年度
研究分野 [生物機能・バイオプロセス](#)
研究種目 基盤研究(B)
配分額 総額: 17480千円 2006年度: 3250千円(直接経費: 2500千円, 間接経費: 750千円) 2007年度: 5330千円(直接経費: 4100千円, 間接経費: 1230千円) 2008年度: 8900千円(直接経費: 8900千円)

研究概要(最新報告)

終脳が嗅覚中枢として発達した魚類(金魚)と統合中枢である大脳をもつ哺乳動物(マウスとラット)を実験生物に用いて、電気生理学、光学計測技術および計算機シミュレーション技術等を駆使して、高等生物における化学感覚の受容と統合から定型的な行動が実行されるアルゴリズムを解析した。化学感覚の受容と定型的行動の指令と制御に関わるアルゴリズムを、自動制御可能な人工物の定型的行動と比較することにより、新しい人工物の設計原理を導出した。

各年の研究実績報告書および研究成果報告書。リンクをクリックすると報告書の詳細や本文にジャンプする

「(PDF)」をクリック

様式 C-19

科学研究費補助金研究成果報告書

平成 21 年 4 月 14 日現在

研究種目: 基盤研究 (B)

研究期間: 2006～2008

課題番号: 18360396

研究課題名 (和文)

定型的探餌・回避行動を誘発する化学感覚統合系のアルゴリズム解読と応用に関する研究

Algorithm analysis of chemosensory transduction that controls the behavioral state of living organisms and its application to engineering system design

研究代表者

大竹 久夫 (OHTAKE HISAO)

大阪大学・大学院工学研究科・教授

研究者番号: 10127483

研究成果報告書はフリーワード検索の対象にならない。研究成果報告書に記載されている内容を検索対象にしたい場合は、「詳細検索」の「報告書 PDF 全文」欄を使って検索する。

研究成果の概要:

終脳が嗅覚中枢として発達した魚類(金魚)と統合中枢である大脳をもつ哺乳動物(マウスとラット)を実験生物に用いて、電気生理学、光学計測技術および計算機シミュレーション技術等を駆使して、高等生物における化学感覚の受容と統合から定型的な行動が実行されるアルゴリズムを解析した。化学感覚の受容と定型的行動の指令と制御に関わるアルゴリズムを、自動制御可

※研究成果報告書の作成が義務付けられている研究種目で、平成 20 年度が研究期間の最終年度にあたる研究課題から KAKEN: 科学研究費補助金データベースで公開されている。

5 文部科学省科研費以外の研究助成金の報告書

国立国会図書館で冊子の報告書類を所蔵している研究助成制度には、次のようなものがある。

■厚生労働科学研究費補助金（旧：厚生省科学研究費補助金）

<http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/>

- ・国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関わる研究分野に対して行われる研究助成事業。
- ・NDL-OPAC の〔詳細検索〕の画面で、[タイトル]に課題のキーワードとともに「厚生△補助金」と入力して検索。なお、平成 12（2000）年 11 月以降は分類記号として「Y155」を付与している。
- ・1998 年以降の報告書は、「厚生労働科学研究成果データベース」で本文を閲覧できる場合がある。
<http://mhlw-grants.niph.go.jp/>

■社会システム改革と研究開発の一体的推進（旧：科学技術振興調整費）

<http://www.jst.go.jp/shincho/>

- ・科学技術システム改革事業の一つで、研究開発とその成果の実利用、社会システムの転換とを一体的に推進する取組に対して行われる研究助成事業。
- ・平成 23 年度に科学技術戦略推進費に組み込まれ、25 年度からは現名称にて実施。
- ・電子版の成果報告書は「科学技術振興調整費等データベース」（<http://scfdb.tokyo.jst.go.jp/>）で検索・閲覧できる。全文検索のほか、キーワード検索では課題名、研究機関名、研究者名からの検索も可能。
- ・冊子体の成果報告書は平成 12 年頃までは成果集という名称で刊行され、個別の研究課題名や著者（研究者）名ではヒットしない資料がある。
- ・当館では部分的に所蔵。NDL-OPAC の〔詳細検索〕の画面で、「図書」の他に「雑誌」と「電子資料」にもチェックを入れ、[タイトル]に「科学技術振興調整費」等事業名を入力して検索。

■私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（旧：私立大学学術研究高度化推進事業）

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/002/002/1218299.htm

- ・私立大学等における研究を支援するために実施する研究助成事業。
- ・資料タイトルは「ハイテク・リサーチ・センター整備事業 研究成果報告書」、「学術フロンティア推進事業 研究成果報告書」などとなっていることが多い。
- ・当館では一般の図書として東京本館で所蔵。NDL-OPAC の〔詳細検索〕の画面で、[タイトル]に「ハイテク・リサーチ・センター」または「学術フロンティア推進」などと入力し、[出版者]に大学名を入力して検索。個別の研究課題名ではヒットしない資料がある。

■環境研究総合推進費（旧：地球環境研究総合推進費）

<http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/index.html>

- ・持続可能な社会構築のため、地球環境の保全に資することを目的とした研究資金。
- ・「研究成果報告書データベース」で成果報告書を検索・閲覧できる。
<http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/database/database.html>
- ・冊子体の資料は 1 課題ごとに小冊子で刊行され、当館東京本館で部分的に所蔵。NDL-OPAC の〔詳細検索〕の画面で、[タイトル]に「環境研究総合推進費」と入力して検索。

この他の研究成果報告書等の所蔵については、当館ホームページ リサーチ・ナビの「国内の主要な科学技術研究助成事業とその成果報告書」（参考文献[9]）を参照されたい。

（参考文献）

- [1] 文部科学省研究振興局、独立行政法人日本学術振興会．“科研費ハンドブック（研究者用）－2013 年度版（平成 25 年 4 月版）－”．“科研費ハンドブック（研究機関用）－2013 年度版（平成 25 年 7 月版）－” 日本学術振興会ホームページ．
http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/15_hand/index.html（参照 2013-09-25）．
- [2] 文部科学省．“科学研究費補助金”．文部科学省ホームページ．
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm（参照 2013-09-25）．
- [3] 文部科学省．“平成 20 年度科学研究費補助金における制度改正について（通知）[別添]”
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/07120615/001.htm（参照 2013-09-25）
- [4] 日本学術振興会．“科学研究費助成事業”．日本学術振興会ホームページ．
<http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html>（参照 2013-09-25）．
- [5] 松本秀彰．科学研究費補助金の「研究成果報告書」ができるまで．情報の科学と技術．54(6)，2004，p. 282-288．
- [6] 後藤悦子．文部省科学研究費補助金成果報告書の所蔵状況と所蔵調査方法．科学技術文献サービス．118，1999，p. 1-4．
- [7] リサーチ・ナビ 科研費報告書（文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書）．国立国会図書館ホームページ．
http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-205003.php
- [8] 特集：科学研究費補助金．学術月報．60(10)，2007，p. 754-873．
- [9] リサーチ・ナビ 国内の主要な科学技術研究助成事業とその成果報告書．国立国会図書館ホームページ
http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-400126.php
- [10] 関西館の資料紹介 第 4 回 文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書．国立国会図書館月報．541，2006，p. 43-47．
- [11] 飯田益雄著．科研費ヒストリー：科学政策にみる科研費の制度と運営の実態 科学新聞社 2007．